



e-Probatio PS2

セットアップマニュアル (Windows XP 版)

Ver 4.0 4.1 5.0 共通 平成 23 年 12 月 1 日

JRE6.0_17 採用

目次

1章 事前確認	2
1-1 送付物品について	2
1-2 ICカードPIN(パスワード)取扱いのご注意.....	2
1-3 他の署名ソフト有無の確認.....	3
1-4 ICカードリーダーライタの環境設定.....	3
1-5 その他制限事項	3
2章PKIソフトのインストール.....	4
3章 電子証明書の登録と確認	6
3-1 電子証明書の登録	6
3-2 電子証明書の内容確認	7
4章 受領書返信.....	10
★ご利用になるシステムを選択して下さい★	10
5章 電子申告・納税システムのご利用設定.....	11
6章 電子契約システム等のご利用設定	12
7章 電子申請システムのご利用設定	16
8章 電子入札コアシステム・電子入札開札システムのご利用設定	18
8-1 事前確認	18
8-1-1 電子入札開札システムについて	18
8-1-2 ポータルサイト等のツールバーについてエラー! ブックマークが定義されていません。	
8-2 Javaおよびコアシステム接続ツールのインストール	19
8-3 利用者登録(ICカード登録)イメージ.....	24
8-4 Javaコントロールパネルの設定変更.....	27
付録1 ソフトの削除について.....	29
1 PKIドライバーパック.....	29
2 コアシステム接続ツール	29
3 Java(ジャバ)	29
9章 トラブル時には	30

1章 事前確認

1-1 送付物品について

弊社からお客様への送付物については、最大3つの物品があります。下記に記載しておりますお客様への送付物がすべて揃っているかどうかご確認ください。

① ICカード(電子証明書)＜本人限定受取郵便＞

- ・ IC カード
- ・ CD-ROM(セットアップマニュアル、ソフト、PKIドライバー等)
- ・ 受領書
- ・ 返信用封筒

② ICカードPIN＜簡易書留＞

※上記①(本人限定受取郵便)をICカード名義人様が受け取られる場合は、ICカードPINを上記①に同封しておりますので、ご注意ください。

- ・ IC カード PIN の記載された紙

③ ICカードリーダーライター(お申し込んだ場合のみご送付)＜宅配便＞

- i) USB タイプ
 - ・ IC カードリーダーライター
 - ・ CD-ROM(ドライバー・インストールマニュアル)
- ii) PCMCIA タイプ
 - ・ IC カードリーダーライター
 - ・ CD-ROM(ドライバー・インストールマニュアル)

1-2 ICカードPIN(パスワード)取扱いのご注意

重要 e-Probatio PS2 サービスにて発行するICカードは、セキュリティ性を確保するため、ICカードPINの入力を15回連続で誤った場合は、ICカードがロック(使用不可)されます。

※ロックされたICカードは一切使用できなくなり、ICカードの再発行(有償)が必要となります。

※ICカードPINの入力間違いが15回未満の状態であれば、正しいICカードPINの入力により入力間違いの累積回数は「ゼロクリア」されます。

※ 2008年12月以前に発行されたICカード(ICカード裏面に●印がないもの)はPINを10回連続入力間違いした場合にロックされます。

1-3 他の署名ソフト有無の確認

システム接続ソフトをセットアップするパソコンに、他の認証局のソフトがインストールされている場合は、正常に動作しない可能性がございますので、先にアンインストール(削除)してからセットアップを続行して下さい。

1-4 ICカードリーダーライタの環境設定

IC カードリーダーライタを正しく取り付けるには、IC カードリーダーライタに同封の FD または CD-ROM 内のインストールマニュアルに従い、セットアップを実施して下さい。

(既に IC カードリーダーライタのドライバーをインストールしている場合は 2 章へ進む)

尚、弊社販売の IC カードリーダーライタのインストールマニュアル、およびドライバは下記の WEB サイトからもダウンロードが可能です。

「<https://www.e-probatio.com/ps2/support/setup.html>

1-5 その他制限事項

システム接続ソフトを正常にセットアップする際のユーザは、管理者権限が必要です。また、システム接続ソフトを利用して電子入札等を実施する際も管理者権限が必要です。ご注意ください。

安全保証貿易規制に関するお願い


本ソフトウェアの一部及び IC カードは、外国為替及び外国貿易法等の輸出関連法規に定める規制貨物(規制技術)に該当しておりますので、日本以外への持出し、輸出又は非居住者への提供に際しては経済産業大臣の許可が必要となりますので、ご留意下さい。

商標

- ※ WindowsXP Internet Explorer は米国及びその他の国における米国 Microsoft Corp.の登録商標です。
- ※ Java 及び全ての Java に関連する商標は、米国及びその他の国において米国 Sun Microsystems,Inc の商標または登録商標です。
- ※ その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。



2章PKIソフトのインストール

ICカード(電子証明書)を読み取るためには、下記の手順でご利用になるパソコンにソフトをセットアップしていただく必要があります。

 **【ご注意】 IC カードリーダーライタのドライバーがインストール済みであることを確認した上で、①にお進み下さい。**

- ① システム接続ソフト CD-ROMをパソコンにセットして下さい。
右図の画面が表示されます。

 **画面が表示されない場合は、次の方法で開いて下さい。**

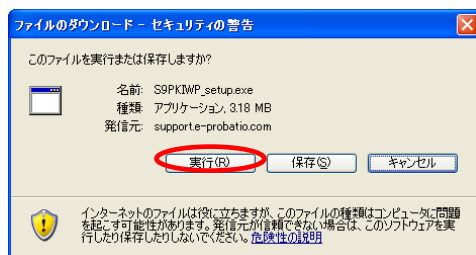
マイコンピュータ ⇒  をダブルクリック ⇒  をクリック

- ② PKIソフトのインストールをクリックします

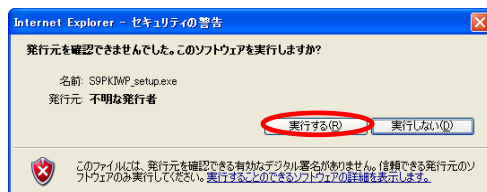
●2章 PKIソフトのインストール クリック>>>>>

PKIソフトのインストール後はパソコンが再起動しますが、まだ設定作業は続きますので再起動後は次項の「3章 ICカードの登録と確認」から行ってください。

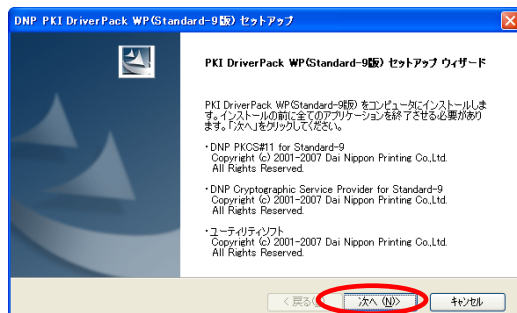
- ③ 「実行」もしくは「開く」をクリックします。



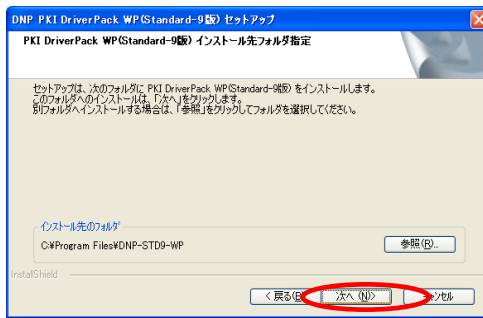
- ④ 「実行する」をクリックします。



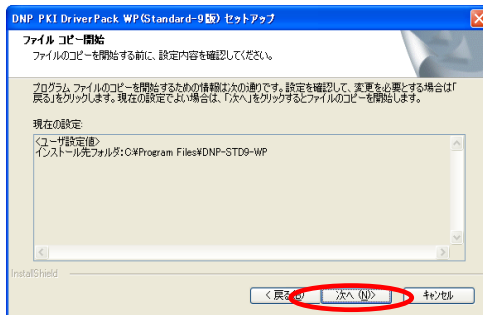
- ⑤ PKIドライバーのセットアップウィザードが表示されますので、「次へ」をクリックします。



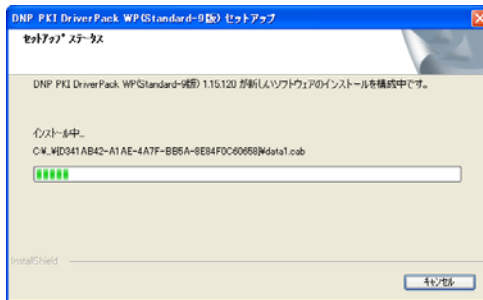
- ⑥ 通常はそのまま「次へ」をクリックします。



- ⑦ 設定内容確認画面が表示されます。「次へ」をクリックします。



- ⑧ インストールが開始されます。



- ⑨ インストール完了後は、再起動を実施するかどうか確認しますので、「はい。今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、「完了」をクリックします。



コンピュータが再起動されます。

以上で、2章の設定作業は終了です。

3章 電子証明書の登録と確認

3-1 電子証明書の登録

こちらの作業は最初の1度だけ行います。IC カードごとに設定する必要がありますので、複数枚ご購入の方はお忘れのないようお願いします。

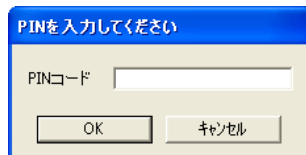


IC カードリーダーライターをパソコンに接続し、ICカードをICカードリーダーライターに挿入し、①にお進み下さい。

- ① 「スタート」⇒「すべてのプログラム」⇒「証明書管理ユーティリティ」⇒「証明書管理ツール」を起動します。

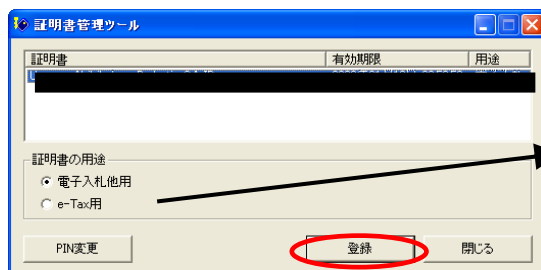


- ② IC カード PIN を投入後、「OK」をクリックします。



- ③ 証明書の用途を選択後、「登録」をクリックします。

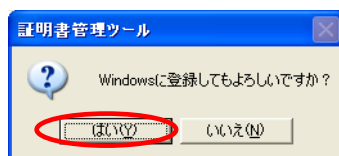
※普段は電子入札システムをご利用される方で、e-Tax、eLTAX システムを同じパソコンで利用したい方は、このチェックを切り替えることにより2つのシステムを利用することができます。



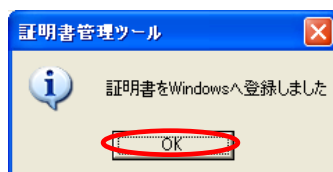
【証明書の用途】

- e-Tax、eLTAX をご利用の方
⇒ e-Tax用にチェックを入れます。
- その他の方
⇒ 電子入札他用にチェックを入れます。

- ④ 登録画面が表示されますので、「はい(Y)」をクリックします。

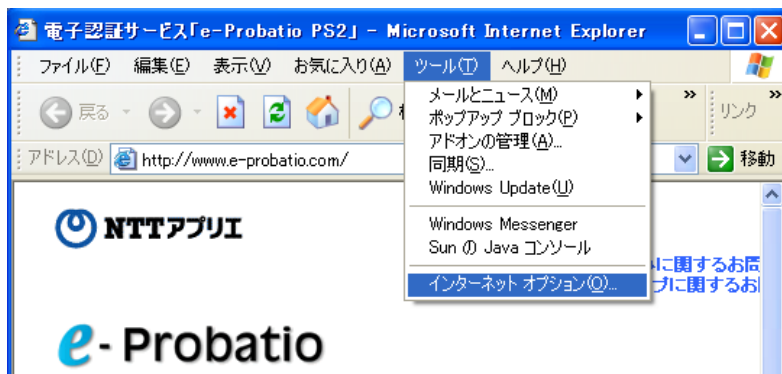


- ⑤ 登録完了画面が表示され、「OK」をクリックします。以上で、電子証明書の登録は終了です。

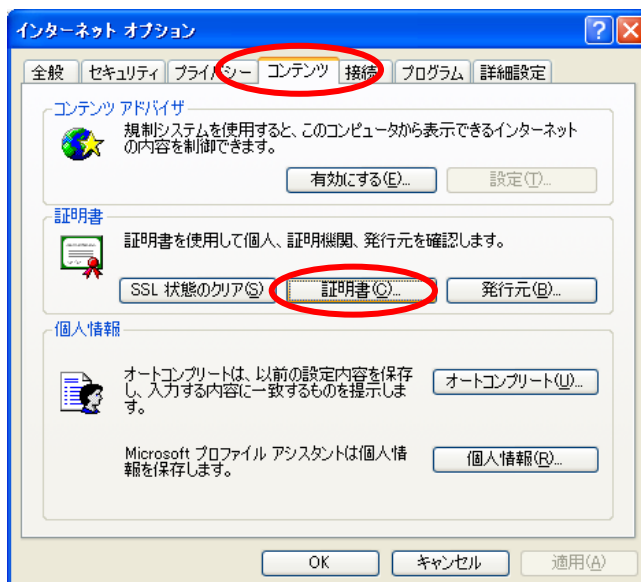


3-2 電子証明書の内容確認

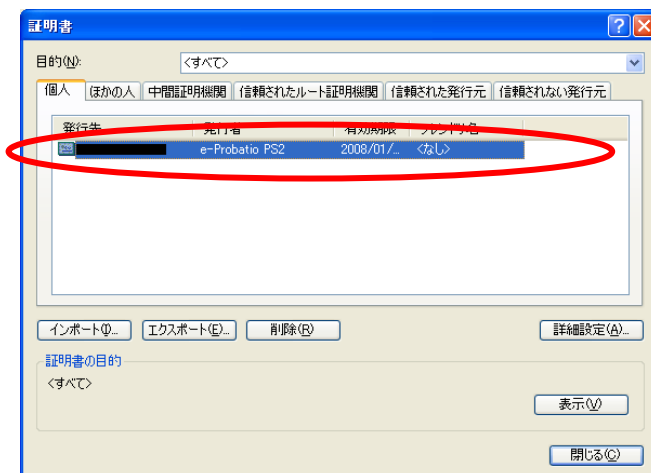
- ① Internet Explorer を起動し、「ツール(T)」-「インターネットオプション(O)」を選択します。



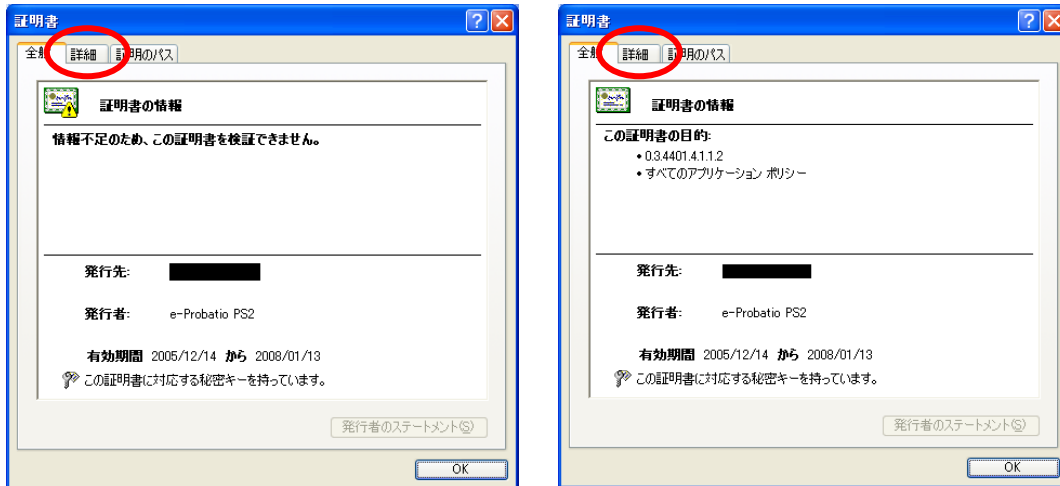
- ② 「コンテンツ」-「証明書(C)」をクリックします。



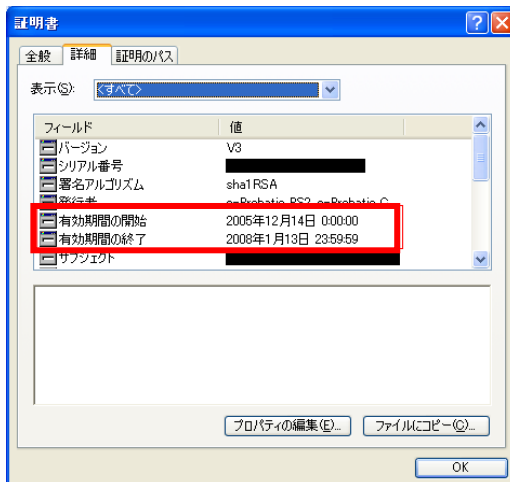
- ③ 「3.2 電子証明書の登録」で登録した電子証明書をダブルクリックし、選択します。



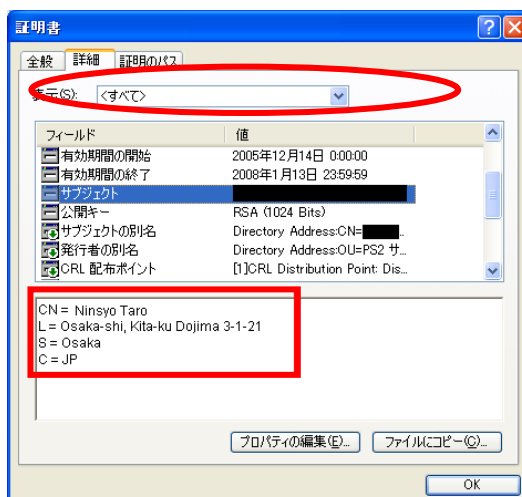
- ④ 「証明書の情報—情報不足のため、この証明書を検証できません。」と表示されることがあります。e-Probatio PS 及び PS2 の自己署名証明書が Windows 証明書ストアにないためです。必要なときに自己証明書を Windows 証明書ストアに取り込むことができますので、本作業において気にせず、⑤へお進み下さい。参考：自己署名証明書インストール済みの画面(右)




- ⑤ 「詳細」タブをクリックし、『有効期間の開始』『有効期間の終了』を確認します。

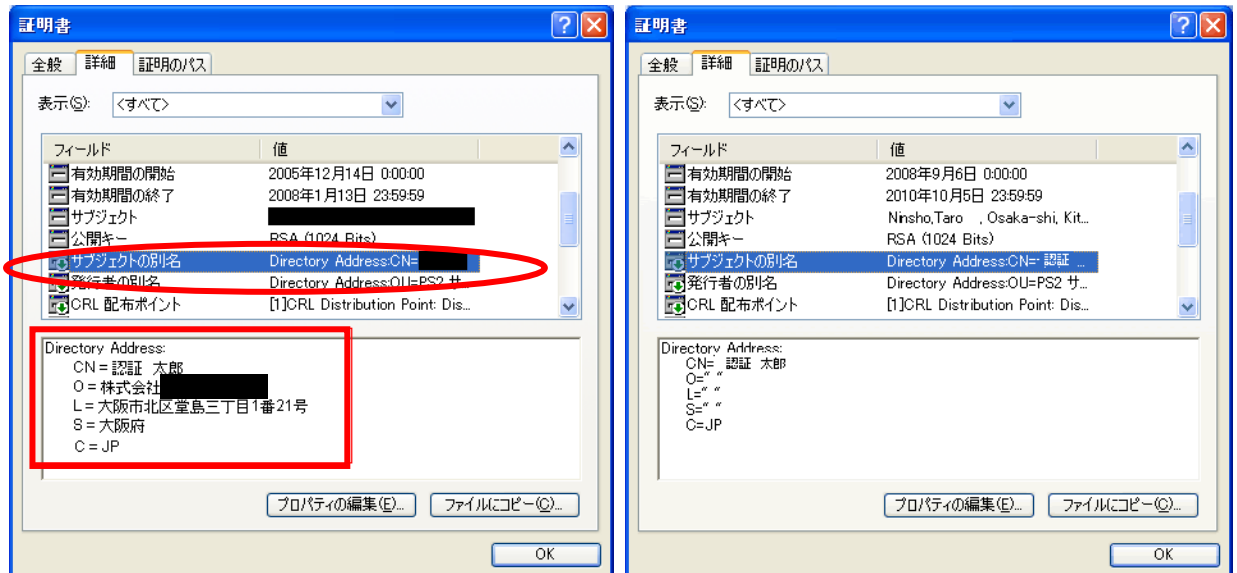


- ⑥ フィールド『サブジェクト』をクリックし、選択します。IC カード名義人様の名前、住民票住所が正しくローマ字で表示されていることを確認します。



- ⑦ 右のスクロールバーを押して、フィールド『サブジェクトの別名』を選択します。
ICカード名義人様の名前、会社名、会社住所が表示されていることを確認します。

 商業登記または商号登記のない個人事業主様の場合、『サブジェクトの別名』会社名
及び会社住所は「半角スペース」となります。(右図参照)



「OK」ボタンを押して、画面を閉じます。

以上で、3章の設定作業は終了です。

4章 受領書返信

ICカード(電子証明書)の内容を確認後、ICカードに同封させていただいた受領書を速やかにご返送下さい。尚、ICカードの発行から15営業日以内に受領書をご返送いただけない場合は、ICカード名義人様にICカードが届いていないと判断し、ICカードの失効処理を行う場合がございますので、予めご了承下さい。

★ご利用になるシステムを選択して下さい★



【ご注意】お客様がご利用になるシステムのみご選択いただき、システムへ接続するための設定作業を実施して下さい。(ご利用しないシステムの設定作業は不要)

- 電子申告・納税システム(e-Tax、eLTax)をご利用の方は、「5章」へお進み下さい。
- 電子契約システム をご利用の方は、「6章」へお進み下さい。
- 電子署名 をご利用の方は「6章」へお進み下さい。
- 不動産業界における有印文書の電子化に係わるシステム をご利用の方は、「6章」へお進み下さい。
- 電子申請システム をご利用の方は、「7章」へお進み下さい。
- 電子入札コアシステム・電子入札開札システムをご利用の方は、「8章」へお進み下さい。

例) 電子入札システムのみをご利用の方
5章、6章、7章は実施せずに、8章の内容を実施します。

例2) 電子入札および、電子契約サービスをご利用の方
6章および、8章の内容を実施します。

5章 電子申告・納税システムのご利用設定



**【ご注意】『電子申告・納税システム』をご利用の方のみ、設定作業を実施して下さい。
(ご利用でない方は設定不要)**


■事前準備

電子申告・納税システムをご利用いただく前に、紙申請から電子申請へ変更する旨の開始届出書を管轄の税務署に提出していただく必要があります。詳しくは管轄の税務署にご確認下さい。

上記の事前確認が終了した後に e-Tax、eLTAX システムを利用するため設定を実施して下さい。尚、e-Tax、eLTax システムの設定方法については、下記のホームページをご参照下さい。

- e-Taxホームページ<http://www.e-tax.nta.go.jp/>
- eLTAXホームページ<http://www.eltax.jp/>

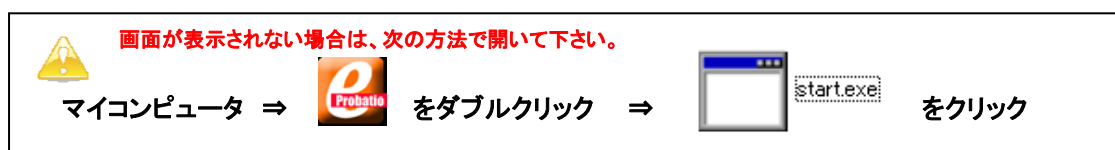
6章 電子契約システム等のご利用設定

 **【ご注意】『電子契約システム』または『不動産業界における有印文書の電子化に係わるシステム』をご利用の方のみ、設定作業を実施して下さい。(ご利用でない方は設定不要)**

■事前準備

- ① システム接続ソフト CD-ROMをパソコンにセットして下さい。

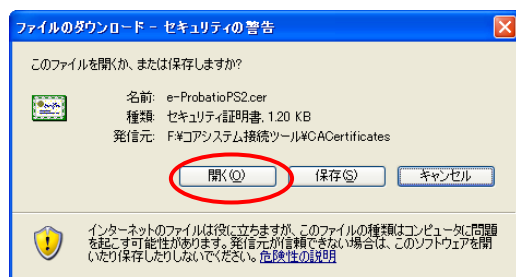
右図の画面が表示されます。



- ②「CA 自己署名証明書(新)のインストール」をクリックします。新・旧 2 つありますが、ひとつずつインストールします。

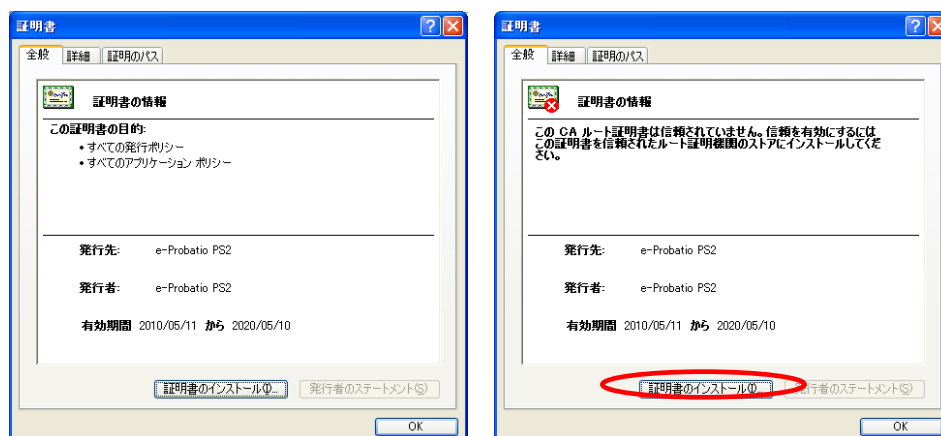
CA自己署名証明書(新)のインストール クリック >>>>>

- ③「開く」のボタンを押します。

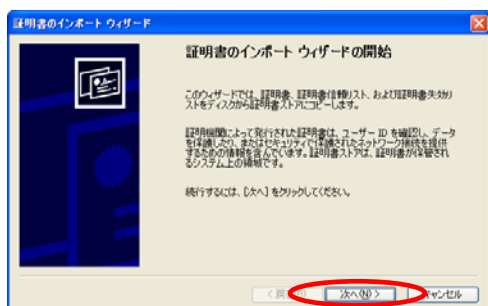


- ④表示された画面の左下にある「証明書のインストール」をクリックします。

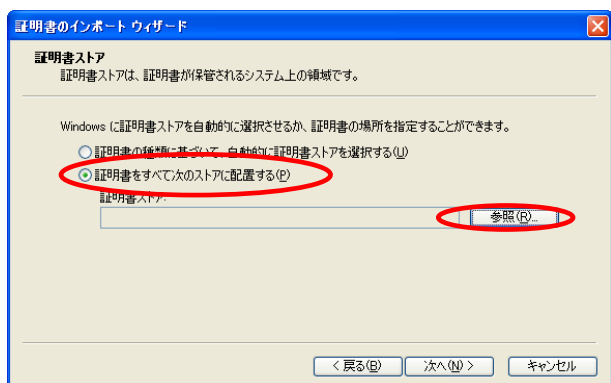
【参考】既にインストール済みの場合は左の画面になります。



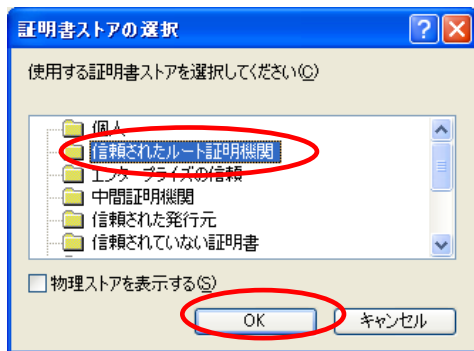
⑤ 証明書のインポートウィザードの開始画面がでたら、「次へ(N)」のボタンをクリック。



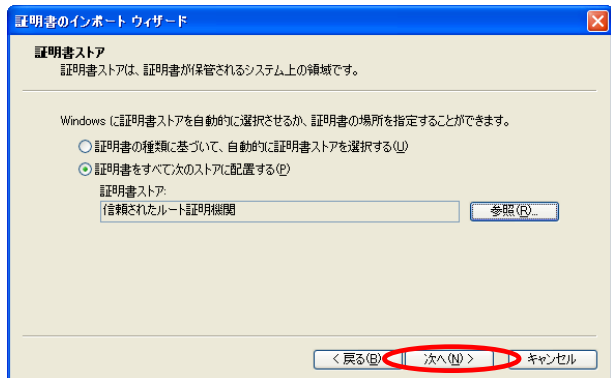
⑥ 証明書ストアの画面で、「証明書をすべて次のストアに配置する」にチェックし、同画面、「参照(R)」のボタンをクリック。



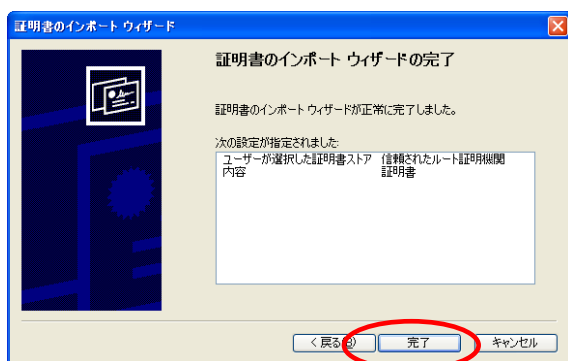
⑦ 証明書ストアの選択画面で「信頼されたルート証明機関」をクリックしてその後、下の「OK」ボタンをクリックします。(証明書ストアの画面に戻ります。)



⑧ 証明書ストアの画面、右下の「次へ(N)」のボタンをクリックします。



⑨証明書インポートウィザード完了の画面、右下の「完了」のボタンをクリックします。



⑩セキュリティ警告が出てきますので、下記の拇印をご確認の上「はい(Y)」のボタンをクリックします。



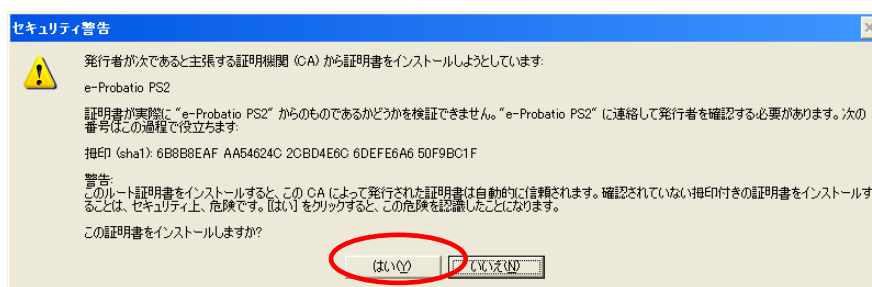
【参考】e-probatioPS2(新)の場合のフィンガープリント(拇印)の場合

1C 33 7F 20 33 21 37 42 8C A7 B0 53 3D 9D C5 8F 1F A1 4C D7

引き続き「CA 自己署名証明書(旧)のインストール」をクリックします。手順は「CA 自己署名証明書(新)のインストール」と同じです。P.12の①から同じように設定してください。

CA自己署名証明書(旧)のインストール クリック >>>>

⑩の画面ではCA自己署名証明書(旧)は下記の画面となります。



【参考】e-probatioPS2(旧)の場合のフィンガープリント(拇印)の場合

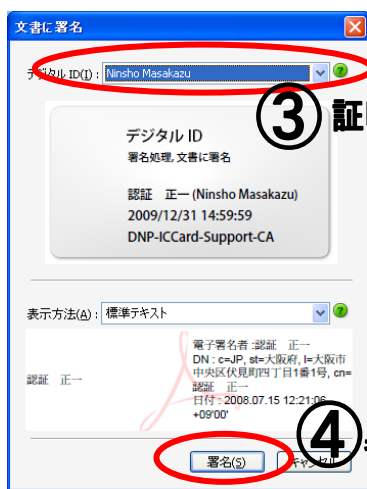
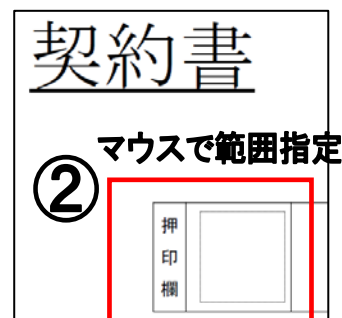
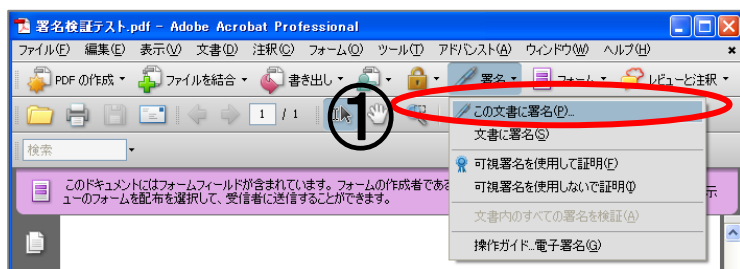
6B8B8EAF AA54624C 2CBD4E6C 6DEF6A6 50F9BC1F

以上で、6章の設定作業は終了です。

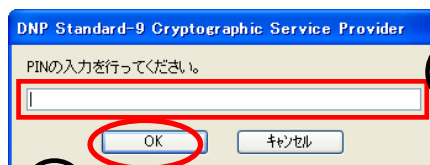
6章の設定終了後、システム提供会社の設定を実施して下さい。なお、設定方法については各システム提供会社にお問合せ下さい。

参考 PDFファイルに署名する方法（CECTRUST サービスを除く）-----

PDFファイルを準備し、開いてください。「署名」項目を選択後、「この文書に署名」を選択してから、マウスで 署名する箇所を指定してください。証明書を選択後、ファイル保存をしていただき、PINを入力後に署名が作成されます。



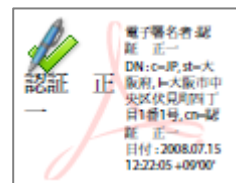
③ 証明書を選択



⑤ PINを入力

⑥ OKをクリック

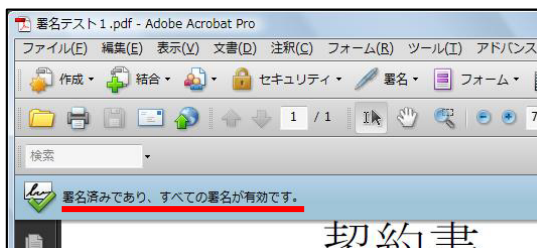
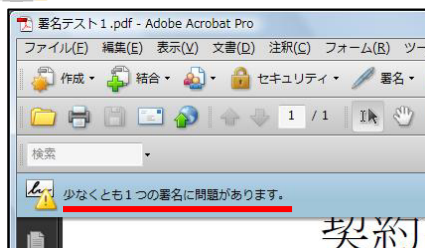
《署名例》



④ 署名をクリック



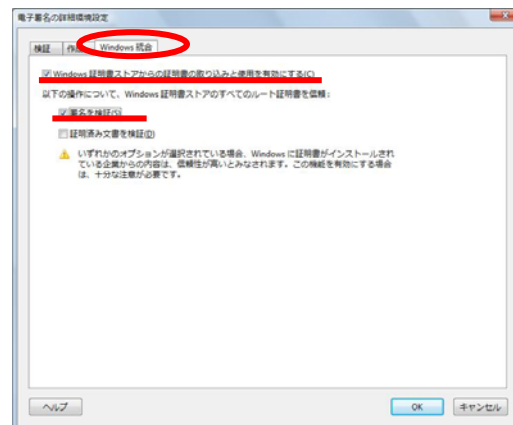
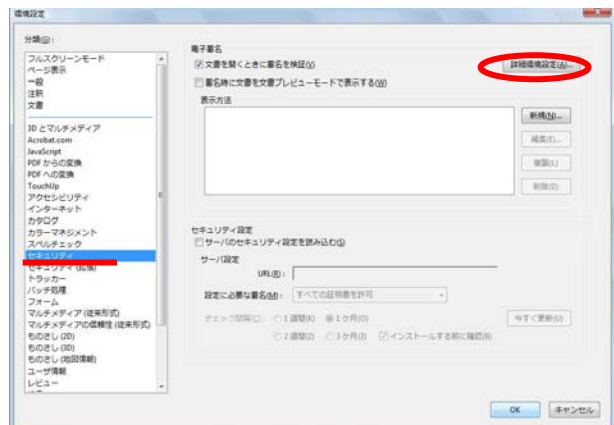
「署名に問題があります。」と表示される方は下記の設定を行ってください。



メニューバー『編集』⇒『環境設定』⇒『セキュリティ』⇒『詳細環境設定』⇒『Windows統合』

「Windows証明書ストアから証明書の取りこみと使用を有効にする」・・・チェックオン

「署名を検証する」・・・チェックオン



7章 電子申請システムのご利用設定



【ご注意】『電子申請システム』をご利用の方のみ、設定作業を実施して下さい。

(ご利用でない方は設定不要)

次の一覧にある電子申請システムをご利用の方は、ロード情報定義ファイルのインストールが必要となりますので、下記の手順に従ってインストールして下さい。

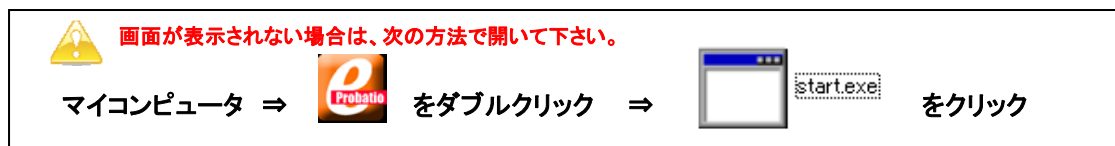
ロード情報定義ファイルが必要なシステム一覧 (2011年11月1日現在)

- 特許庁/電子出願システム
- 国土交通省/特殊車両オンライン申請システム
- 総務省/電波伝搬障害防止区域図縦覧システム
- 法務省/オンライン申請システム
- 防衛省装備施設本部(装備)/電子入札・開札システム

■事前準備

①システム接続ソフトCD-ROMをパソコンにセットして下さい。

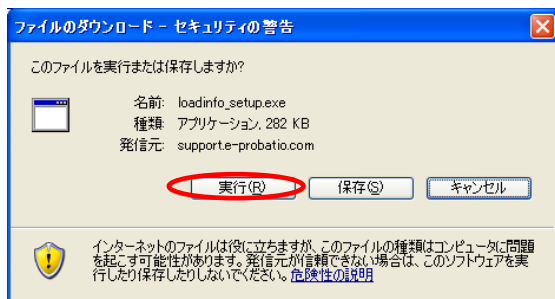
右図の画面が表示されます。



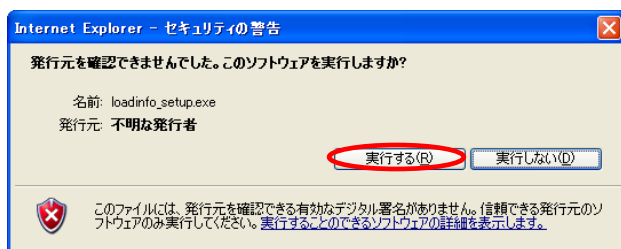
②ロード情報定義ファイルのダウンロードをクリックします。

ロード情報定義ファイルのインストール クリック >>>>>

③「実行」もしくは「開く」をクリックします。



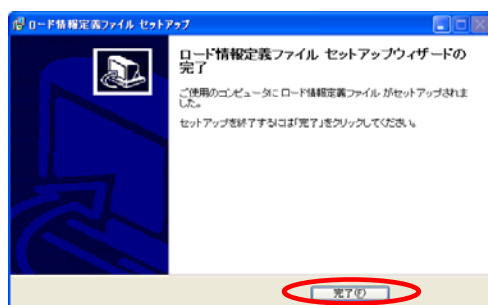
④セキュリティの警告が出てくる方は「実行する」をクリックします。



⑤「セットアップウィザードの開始」画面が出ましたら、「次へ」のボタンをクリックします。



⑥セットアップウィザードの完了画面で、「完了」ボタンをクリックします。



以上で、7 章の設定作業は終了です。

7 章の設定終了後、各システムの設定作業をして下さい。尚、各システムの設定方法については、各システムのホームページ等にごさいます操作マニュアルをご参照下さい。

8章 電子入札コアシステム・電子入札開札システムのご利用設定

8-1 事前確認

8-1-1 電子入札開札システムについて

次の一覧のシステムは電子入札コアシステムとは別のシステムとなりますので「8.2 Javaおよびコアシステム接続ツールのインストール」以降の設定は必要ございません。それぞれのシステムにお進みいただき導入説明書をご確認の上設定完了後にご利用いただけます。

電子入札開札システム一覧（2011年11月1日現在）

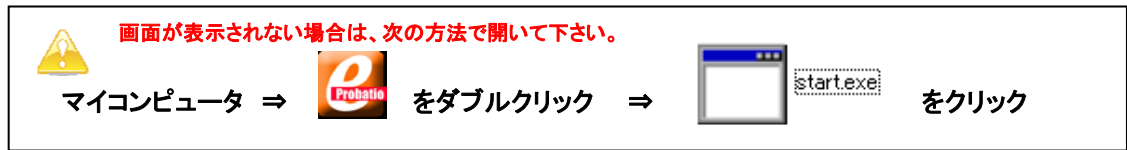
- 総務省 電子入札開札システム
- 環境省 電子入札開札システム
- 外務省 電子入札開札システム
- 内閣府 電子入札開札システム
- 経済産業省 電子入札開札システム
- 和歌山県物品電子調達システム ※1
- 滋賀県物品電子調達システム ※1
- 防衛省装備施設本部(装備) 電子入札・開札システム ※2

※1 和歌山県物品電子調達システムおよび滋賀県物品電子調達システムをご利用のお客様へ
この一覧にある電子入札システムと電子入札コアシステムへアクセスされる場合、利用するJavaバージョンが異なる為、同じPCを利用することができません。電子入札開札システム接続用に別のPCをご準備下さい。

※2 防衛省装備施設本部(装備) 電子入札・開札システムをご利用のお客様へ
システムにお進みいただく前に、第7章内の「ロード情報定義ファイルのインストール」が必要となります。このマニュアル内の16～17ページの作業を行ってからシステムにお進み下さい。防衛省装備施設本部電子入札・開札システムの事前準備終了後にシステムがご利用になれます。

8-2 Javaおよびコアシステム接続ツールのインストール

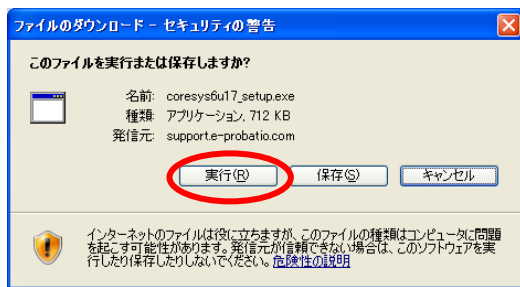
- ① システム接続ソフト CD-ROMをパソコンにセットして下さい。画面が自動的に表示されます。



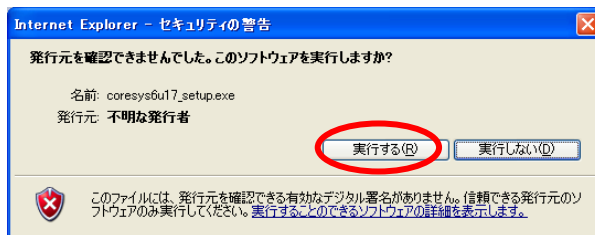
- ② 「8-2 Javaおよびコアシステム接続ツールのインストール」をクリックします。



- ③ 「実行」をクリックします。

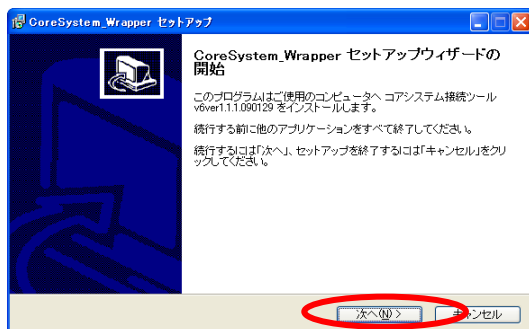


- ④ 「実行する」をクリックします。

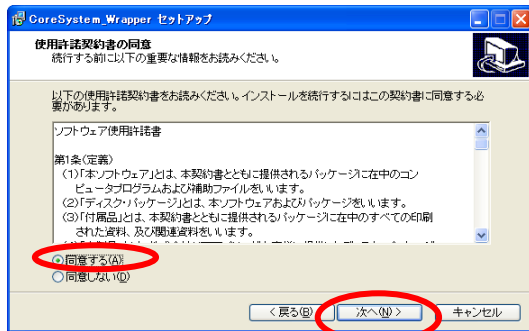


- ⑤ セットアップウィザードが開始されます。

「次へ」をクリックします。

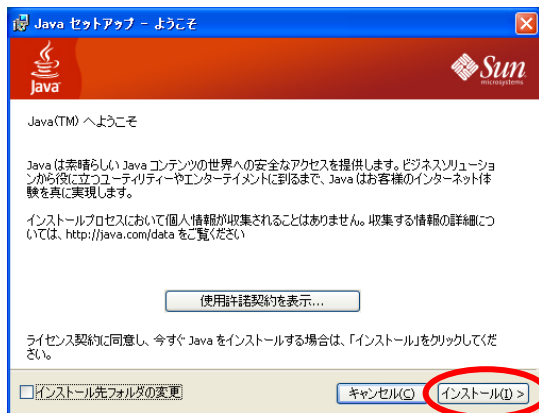


- ⑥使用許諾契約書の同意画面では内容をご確認いただき、「同意する」にチェックを入れてから「次へ」をクリックします。



※同意いただけない場合はインストールされません。

- ⑦Java のインストールが始まります。「インストール」をクリックします。



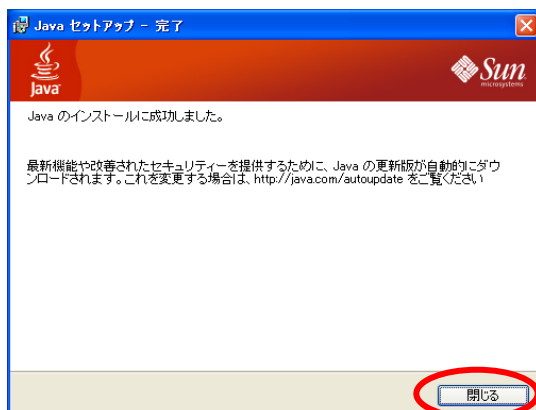
⚠️ すでにJavaがインストールされている場合は、この画面は出ません。⑩から続けてください。

※同意いただけない場合はインストールされません。

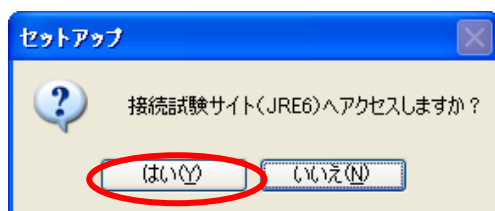
- ⑧インストール画面では、少し時間がかかります。少々お待ち下さい。



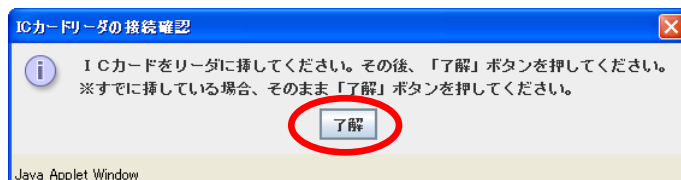
- ⑨「完了」をクリックします。



⑩ICカード接続試験サイトへアクセスします。「はい」をクリックして下さい。



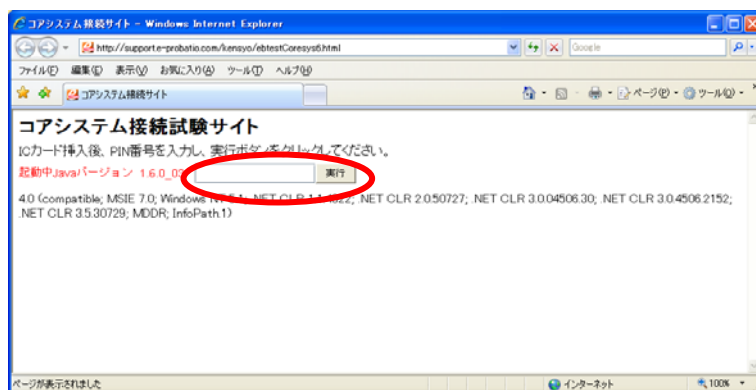
⑪ICカードリーダー及びICカードのご準備をいただく為のご注意書きが表示されますので、「了解」ボタンをクリックして次にお進み下さい。



正常に進んだ場合

⑫Internet Explorer 画面のICカードPIN欄にパスワード(6桁)を入力し、「実行」ボタンをクリックします。

⚠ ICカードPIN(パスワード)の初期値は、**6桁の数字**です。



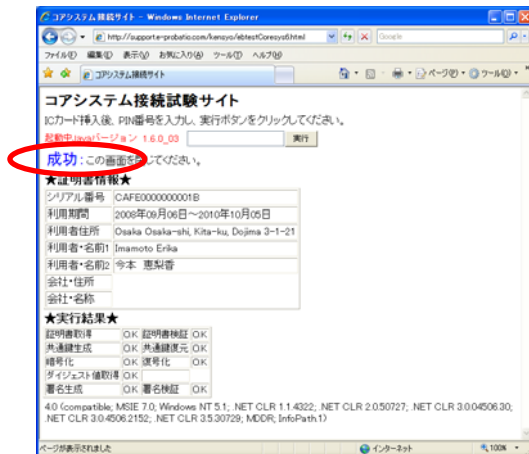
⚠ ICカードPIN(パスワード)が間違っている場合は、以下のロゴが出力されます。

PINの入力を15回連続で間違えるとICカードがロックされて利用できなくなり、再発行申込が必要になります。(再発行申込は有料となりますので、ご注意ください)



- ⑬接続試験の結果が表示され、「成功」であれば、電子入札を行うための環境が正しくセットアップされています。

【成功の場合】

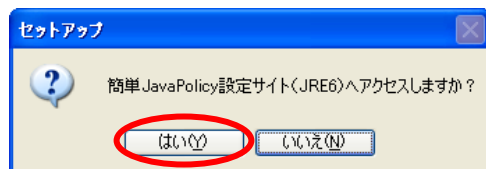


【エラーの場合】

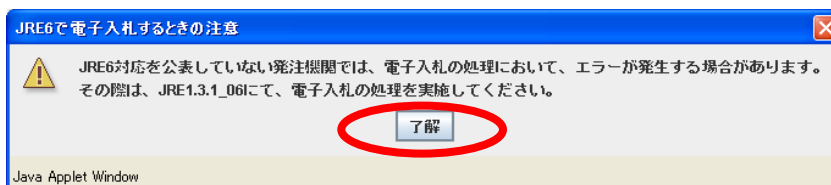


エラーが表示されるお客様へ ……「解決方法」に従ってエラーを解決して下さい。
 解決後は、再度、『8-2 Java およびコアシステム接続ツールのインストール』（19 ページ）①から実施してください。

- ⑭引き続き、簡単 Java Policy 設定サイトへ接続します。「はい」をクリックして下さい。
 ※電子入札コアシステムに接続する際、環境設定 (Java ポリシーの登録) 行う必要があります。

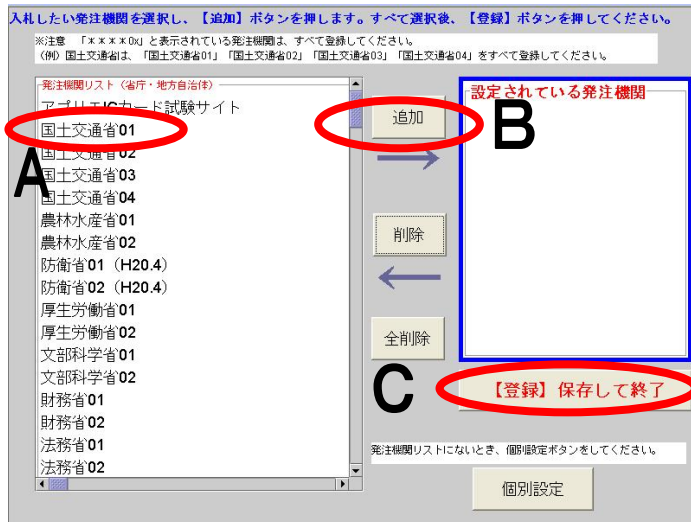


- ⑮JRE6 のご利用に関する注意事項が表示されますので、「了解」をクリックして下さい。



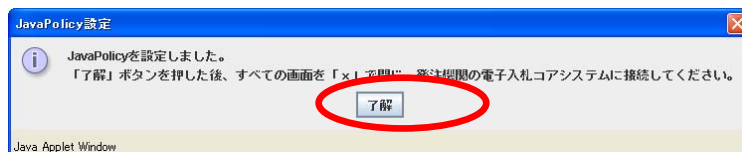
⑩ Javaポリシーを設定します。

- A 左枠の一覧から、入札したいところを選択してください。
 B 『追加』ボタンをクリックしてください。
 C 入札を行いたい全ての発注機関を右枠に追加後、【登録】ボタンを押します。



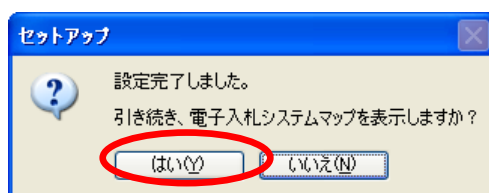
複数選択する場合は、キーボードの Ctrl キーを押しながら、発注機関をクリックで選択して下さい。

⑪ 『了解』をクリックしてください。



⑫ 以上で、簡単 JavaPolicy 設定サイトでの登録作業は終了です。

電子入札コアシステムに接続される際は、一旦全ての Internet Explorer を閉じてから、Internet Explorer を再起動後にアクセスし、引き続き各発注機関先のシステムにお進み下さい。



利用者登録のイメージ画面につきましては次項をご参照ください。

【参考】WEB サイトからも Java ポリシーが設定できます。
 弊社WEBサイトより「簡単 JavaPolicy 設定サイト」をクリックして下さい。

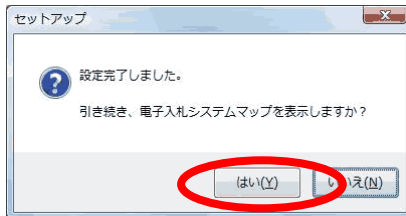
8-3 利用者登録(ICカード登録)イメージ



以下の例は国土交通省電子入札システム(e-biscセンター)の一例です。

ご利用いただくシステムによっては手順が異なる可能性がありますので、ご注意下さい。

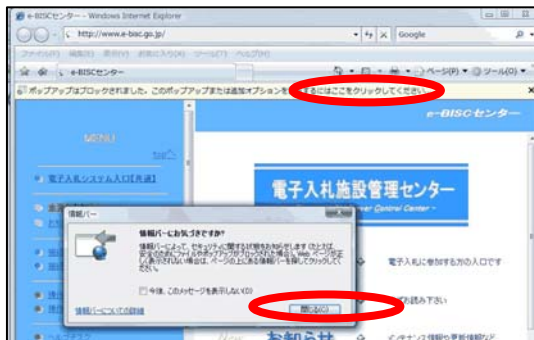
①利用者登録を行う為、電子入札システムにアクセスします。



■こちらの方法でもマップを開けます！■
 スタート ⇒ すべてのプログラム ⇒
 電子入札コアシステム用ツール⇒ e-Probatio ホ
 ームページ ⇒ システム対応マップ

②ご利用いただくシステムをクリックします。

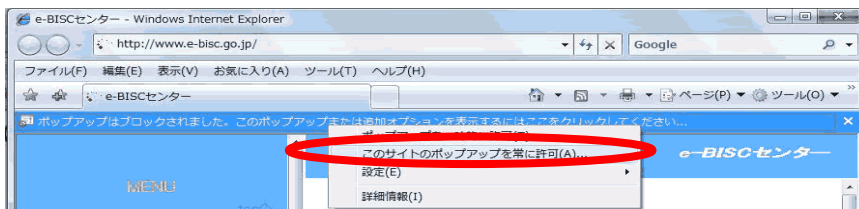
③「情報バーにお気づきですか？」ウインドウは「閉じる」をクリックして閉じます。背後にある、「ポップアップはブロックされました。・・・ここをクリックしてください。」のところをクリックします。



■ポップアップブロック■

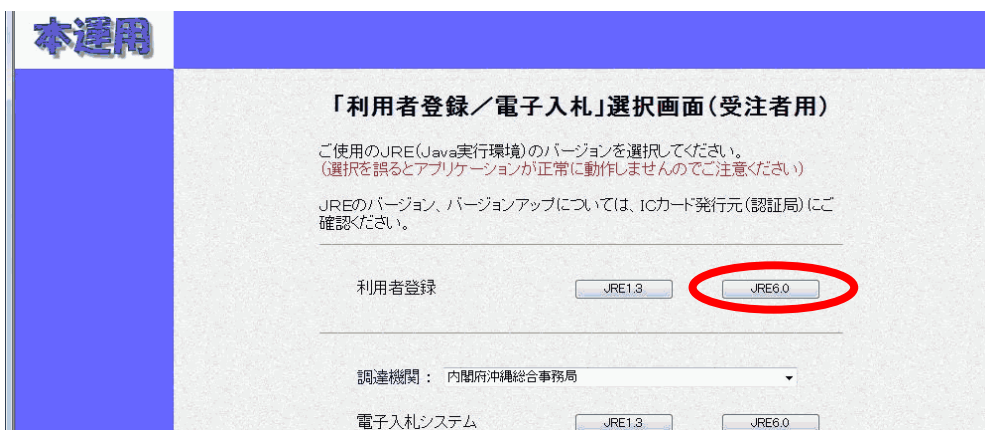
Web ページを表示したり、リンクをクリックしたりする際に自動的に新しいウインドウが開いて表示される Web 広告をポップアップ広告といい、ポップアップブロックとは、このポップアップ広告を表示させない機能です。
 ただし、この機能が働くと、入札システムに入れない可能性があります。

④「このサイトへのポップアップを常に許可」を選択します。



⑤最初は「利用者登録」を行います。

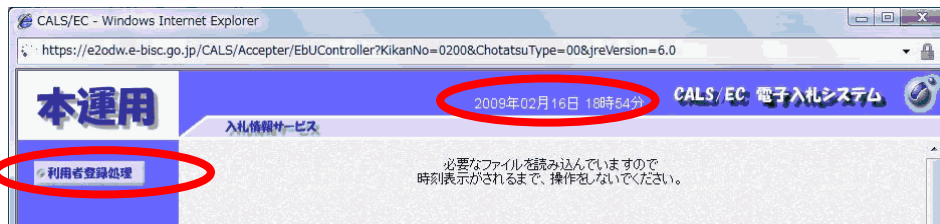
JREの選択画面では『JRE6.0』を選択します。



⑥時刻表示されているか確認してください。時刻表示されない場合は次ページに進めません。

時刻表示されましたら、「利用者登録処理」ボタンをクリックします。

※ 時刻が表示されない場合は、インターネットエクスプローラを再起動させてください。



⑦「登録」ボタンをクリックします。



■利用者登録について■

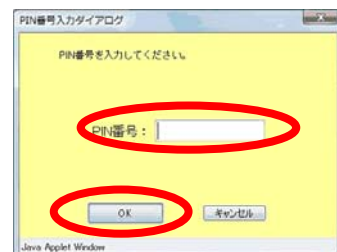
○登録・・・新規登録はこちらから行います。

○変更・・・メールアドレス変更や、登録情報の変更などを行います。

○ICカード更新・・・有効期限が切れる前にここから新しいカードへの切り替えを行います。

※入札先により画面が異なる場合がございます。

⑧PIN入力ダイアログが出ますので、PINを入力し、「OK」をクリックして下さい。



ここでエラーメッセージが表示される方は下記トラブルシューティングの以下の項目をご参考下さい。

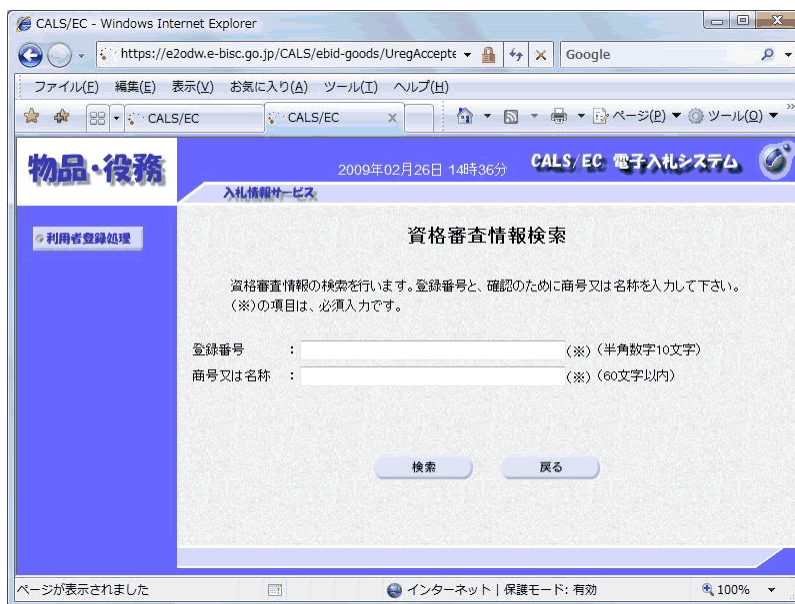
<http://support.e-probatio.com> (7. 電子入札コアシステムについて)

ご参考 ポップアップブロック

以下のような画面になる方は25ページをご参考にポップアップブロックを解除して下さい。



ご参考 資格審査情報検索・この後の登録について



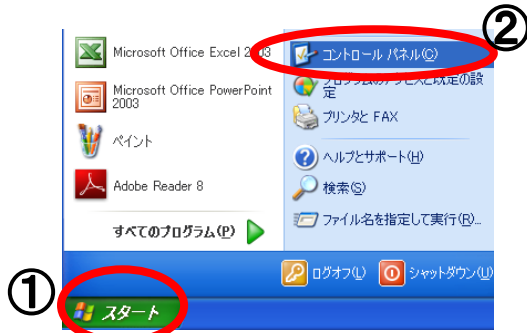
※正常にログインができると、「資格審査情報検索」の画面、もしくは登録画面に移ります。

ここより先のページは、発注機関(入札先)でないと分からない項目となります。登録番号が不明な場合等は、発注機関のヘルプデスクにご確認ください。

8-4 Javaコントロールパネルの設定変更

設定した環境がアップデートにより置き換わらないよう「自動アップデート」機を外します。

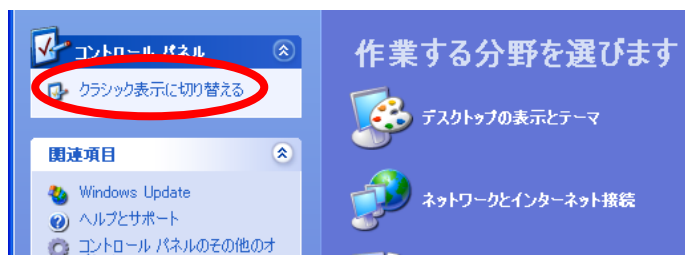
- ①『スタートボタン』をクリックします。
- ②『コントロールパネル』をクリックします。



③下図の画面Aもしくは画面Bのどちらかが表示されます。

画面Aが表示される方の場合『クラシック表示に切り替える』をクリックし、画面Bに変更します。その後、『Java』のアイコンをダブルクリックします。
画面Bが表示される方は『Java』のアイコンをダブルクリックします。

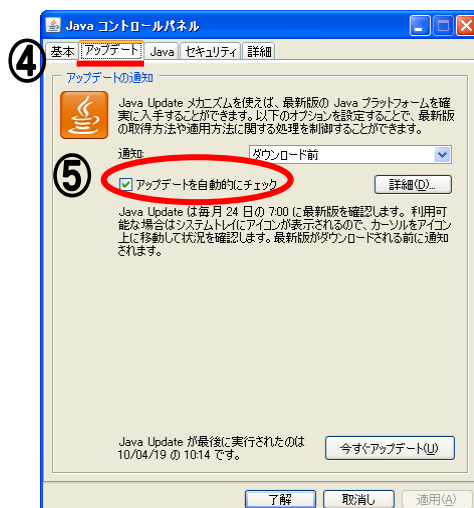
画面A



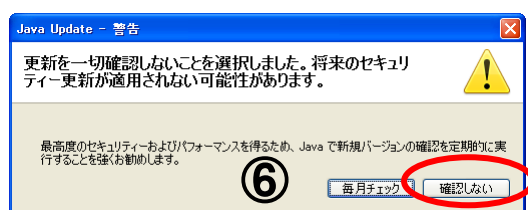
画面B



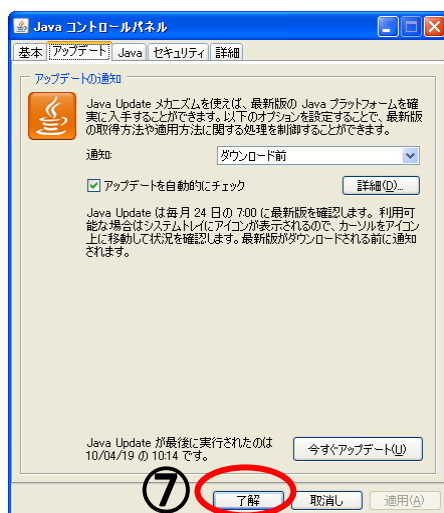
- ④アップデートタブをクリックします。
- ⑤『アップデートを自動的にチェック』のレ点を外します。



⑥設定完了後下記のメッセージが表示されますので『確認しない』をクリックしてください。



⑦『了解』をクリックしてください。



以上でインストール作業は終了です。

付録 1 ソフトの削除について

コアシステム接続ソフトの削除(アンインストール)方法について記載します。



システム接続の必要が無くなった際に本作業を実施して下さい。

1 PKIドライバーパック

- ① 「スタート」⇒「コントロールパネル」⇒「プログラムの追加と削除」より、DNP PKI DriverPack WP(Standard-9 版)を選択し、「変更と削除」をクリックします。
(DNP Standard-9 Driver と表示されている場合もここで削除して下さい。)
- ② アンインストールを実施する確認画面が出力されます。「次へ」をクリックします。
- ③ ファイルの削除の確認画面が出力されます。「次へ」をクリックします。
- ④ アンインストールが開始されます。
- ⑤ アンインストールが完了しました。再起動する場合は、「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、「完了」をクリックします。
以上で、PKIドライバーのアンインストール作業は終了です。

2 コアシステム接続ツール

コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」より、「コアシステム接続ツール」を選択し、「変更と削除」をクリックします。

- ①ファイル削除画面が表示されます。
- ②アンインストール完了画面が表示されます。「完了」をクリックします。
以上で、コアシステム接続ツールのアンインストール作業は終了です。

3 Java(ジャバ)

- ①「スタート」⇒「コントロールパネル」⇒「プログラムの追加と削除」より、「Java(TM) 6」を選択し、「変更と削除」をクリックします。

以上で、Java のアンインストール作業は終了です。

9 章 トラブル時には

【お願い】セットアップ時やコアシステム接続ソフト利用時にエラーが発生した場合は、お問合せいただく前に、下記の弊社 WEB サイトのトラブルシューティングをご確認下さい。

トラブルシューティング ⇒ <http://support.e-probatio.com>

CD-ROM 内の書類及びセットアップツールについてのご質問は下記までお問合せ下さい。尚、電子入札コアシステムや電子入札・開札システムの利用方法等については、弊社にてご回答できない場合がございますので、予めご了承下さい。

<p>NTT ネオメイト 電子認証サービス事業部 ヘルプデスク 【TEL】 06-6348-1060 【E-Mail】 ninshou@e-probatio.com</p>
--

 エラーメッセージが表示される場合は、必ず内容をお控えのうえ、お問合せ下さい。